

## 協働事業報告書

事業の名称	手作り燈籠をつくろう！		
団体名・氏名	2009「えべっさん燈籠」 プロジェクト実行委員会	関係課(G)名	産業振興グループ
事業費	152,295円	市の負担額	100,000円

事業の目的及び内容	(目的)	
	地域行事への参加は、新・旧の住民をつなぐコミュニティ形成の機会である。地域行事は、地域の活性化を見込める重要な地域資源であると同時に、観光資源と考えられる。こうしたことから、それを継承し、認識を高めるために手作り燈籠の作成ワークショップを開催する。	
	(内容)	
	手作り燈籠をつくって、地域行事「万燈籠」にて展示・展覧する。	
	(市民活動団体等の役割)	(市の役割)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手作り燈籠のワークショップの企画、運営、燈籠作成の指導及び展示・展覧作業</li> <li>・ チラシ等の作成</li> <li>・ 関係団体との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動</li> <li>・ 関係団体への協力依頼</li> </ul>

	市民活動団体等	市 ※
協働事業の成果	当実行委員会の持つ知識と経験を、地域行事にあわせた地域のまちづくりに活かすことができた。西宮市の、よりよいまちづくり実現に向けて、共に事業を進めることができ、地域社会において、地域のコミュニケーション形成の役に立った。 当実行委員会メンバーと市が、互いの立場や特性を理解しあいながら、それぞれの役割分担で事業を進めることができ、多くの参加者があった。	当該事業の実施により、ワークショップ会場である戎座人形芝居館や周辺の西宮中央商店街、作品の展示場所となる西宮神社「万燈籠」への人の流れの創出につながった。また、市民等の地域行事への参加を促すとともに、各実施主体間での連携に向けた一助にもなり、地域のにぎわいづくりに一定の効果があったものと思われる。
課題	たった1回の花火的な事業にするのではなく、数年の継続事業として推進することにより、内容の充実とより地域に密着する事業となり、地域社会の形成に役立つものである。よって、次年度への継続実施が望まれる。	当該事業を実施するにあたっては、実施団体と市との協働における役割分担等について、再度整理を行う必要があるのではないかと。

注1 事業実施が確認できる資料（写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等）を添付してください。

注2 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

## 自己評価書(2009「えべっさん燈籠」プロジェクト実行委員会)

事業の名称	手作り燈籠をつくろう！	
団体名・氏名 関係課(G)	2009「えべっさん燈籠」プロジェクト実行委員会 産業振興グループ	
自己評価欄（該当する選択肢に○をつけてください。）		
1. 計画どおりに実施できたか	①. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により期待した成果を上げることができたか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実施した効果はあったか	1. 非常にあった	主な理由
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	広報関係で広範囲に、多くの市民及び近隣地域に周知することができ、作られた手作り燈籠を見に来る人も多かった。実施したことによって、地域の商店街の方々より、次年度への継続を希望する声も多くあった。
4. その他、評価すべき点、反省すべき点	<p>評価すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域行事に参加者がなじむことができ、地域行事への関心が深まった。</li> <li>・ 燈籠製作中に、参加者同士のコミュニケーションがあり、子どもたちの表現力やコミュニケーション力の手助けとなった。</li> </ul> <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場がもっと広ければ、多くの子どもたちに制作してもらえた。</li> <li>・ 対象を子どもだけでなく、大人まで広げれば、もっと多くの作品ができた。 (実際に、大人からの参加希望の問い合わせが相次いだ)</li> </ul>	

## 自 己 評 価 書 (産業振興グループ)

事業の名称	手作り燈籠をつくろう！	
団体名・氏名 関係課 (G)	2009「えべっさん燈籠」プロジェクト実行委員会 産業振興グループ	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施により 期待した成果を 上げることができ たか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3, 4を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあっ たか	1. 非常にあった	主な理由  ワークショップ会場である戎座人形芝居館や周 辺の西宮中央商店街、作品の展示場所となる西宮 神社「万燈籠」への人の流れの創出につながり、 地域のにぎわいづくりに一定の効果があったも のと思われる。
	②. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>評価すべき点</p> <p>当該事業の実施により、市民等の地域行事への参加を促す機会ができた。また、各実施主体間での連携に向けた一助にもなったように思われる。</p>	

